

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ
開・閉会式会場等整備基本計画

つむ
紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会

2027

第26回全国障害者スポーツ大会



日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ実行委員会

■目次

1. 開・閉会式会場等の現況

1-1. 山之口運動公園の施設概要	1
-------------------------	---

2. 開・閉会式会場の整備

2-1. 開・閉会式会場等整備の基本的な考え方	2
2-2. 会場装飾の考え方	3
2-3. ユニバーサルデザインの考え方	4
2-4. ゾーニング・動線の考え方	5
2-5. ゾーニング計画	6～7
2-6. 動線計画	8～11
2-7. 会場転換計画	12
2-8. 整備スケジュール	13

■住所 宮崎県都城市山之口町花木2381-4外

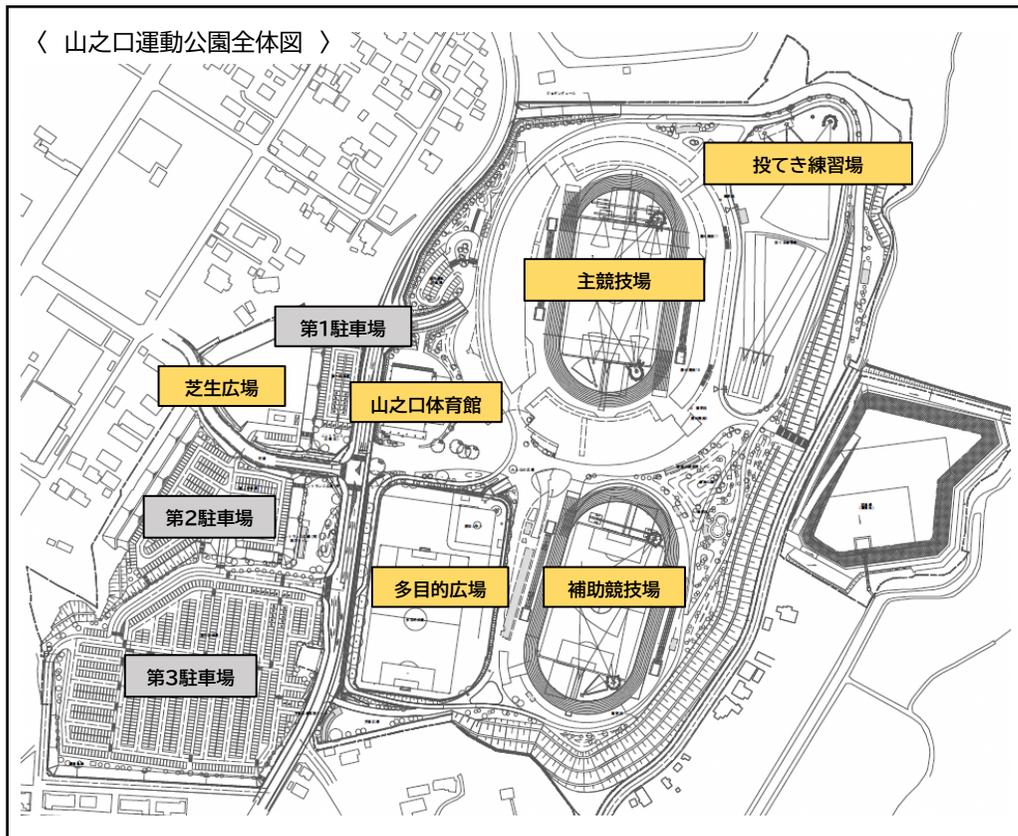
■施設概要

1972年から第1期、1997年から第2期の整備が進められ、陸上競技場や野球場、ソフトボール場等の主に屋外の体育施設が中心の公園であり、年間の利用者数は4万人前後で、市民を中心に主にグラウンドゴルフや少年野球、サッカー、ソフトボールで使用されていました。

2020年より、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポの開催に向けて工事を進めており、2025年3月に公園内各施設の完成を予定しています。

■公園内の主な施設及び周辺施設

■宮崎県山之口陸上競技場(主競技場)



※完成イメージ図

- ・収容人数 15,000人以上
- ・第一種公認陸上競技場 トラック400m×9レーン

主競技場・補助競技場・投てき練習場・山之口体育館・多目的広場・芝生広場・各駐車場

2-1. 開・閉会式会場等整備の基本的な考え方の検討

開・閉会式会場会場整備については、「安全性の重視」「機能性・快適性の確保」「効率性の追求」「環境への配慮」「暑熱・荒天対策」「宮崎県の魅力発信」の6項目を重点的に考慮した計画とします。

安全性の重視



陸上競技場エントランス
皇室動線分離用パーテーション



危険個所の養生



動線の照度確保

環境への配慮



環境配慮素材の活用



リース部材の積極活用



ゴミの分別回収の徹底

機能性・快適性の確保



土・芝生面への下地養生敷設



来場者の休憩場所の確保



水洗トイレの整備

暑熱・荒天対策



熱中症対策備品の積極活用



ユニットハウスの採用

効率性の追求



既存施設の有効活用
(陸上競技場・屋内走路・体育館)



陸上競技会との
仮設物の共用(選手控所等)



システム材やリース部材の有効活用

宮崎県の魅力発信



県産材の活用(木材等)



観光紹介装飾



地元物品PR装飾

■会場装飾の考え方の整理・検討

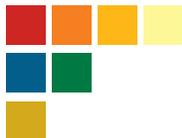
全国から参加される皆様を「宮崎」らしい温かいおもてなしの心で歓迎するため、宮崎県に関連がある素材を活かした装飾や飾花を配置し、会場全体の雰囲気を感じ上げます。

会場装飾

統一感のあるデザインや調和の取れた色彩に配慮し、大会マスコットキャラクターや宮崎県にゆかりある素材等を効果的に活用した会場装飾を行います。

【装飾使用色(案)】

- ・南国をイメージさせる暖色（赤・オレンジ・黄）
- ・広大で豊かな自然(海・森林)を表現する色(青・緑)
- ・「神話の国」にふさわしい気品ある優雅な色（金）



【装飾使用素材(案)】

- ・大会マスコットキャラクター・公式ポスターデザイン
- ・マリンスポーツ(サーフィンなど)
- ・自然(海・山・太陽など)
- ・神話(雲・天岩戸など)
- ・名産品(日向夏・マンゴーなど)

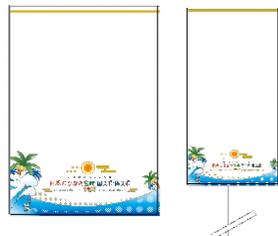


会場装飾デザイン例

◆ 歓迎ゲート(例)



◆ サイン看板(例)



※デザインは今後の基本設計・実施設計において検討を行う。

会場飾花

県民参加の手づくり感あふれる飾花などを来場者の動線上に飾りつけることにより、来場するすべての人へおもてなしの心を表現し、華やかな会場づくりを行います。飾花装飾は花いっぱい運動との連携を取り、計画を進めます。

花いっぱい運動 推奨花等を使用して、来場者動線への飾花配置検討や飾花装飾物の検討及び仕様・配置の計画を行います。



ビンカ

マリーゴールド

ジニア

飾花装飾方法例

- ◆ ロイヤル飾花
ロイヤルボックス前面の装飾手法の選択肢として検討
- ◆ デザイン飾花
会場装飾アイテムの1つとして会場園路に設置することを検討
※実施の場合は、県内農業系高校・大学等と協働
- ◆ プランター飾花 等



ロイヤル飾花(イメージ)



デザイン飾花(イメージ)

■ユニバーサルデザインの考え方の整理・検討

障がいのある方や高齢者等すべての人に配慮した次のような考え方で会場づくりを行います。

安全性に配慮した会場づくり

会場内の段差等を解消するなど、誰もが会場内で安全に過ごすことができる会場づくりを行います。



- ◎ 仮設スロープ等による段差解消
- ◎ 車いす利用者等の動線確保
- ◎ 段差識別表示による安全な足元対策
- ◎ 仮設敷板による安全な動線の確保
- ◎ 会場内の適切な照度の確保
- ◎ 傾斜路に対する手摺の設置
- ◎ 芝生及び土の下地への養生の設置 等



仮設スロープ(イメージ)

わかりやすい会場づくり

目的に応じた識別しやすい各種サインを配置するなど、誰もがわかりやすい会場づくりを行います。



- ◎ 視認性に配慮した文字や色彩に対応したサインデザインの採用
- ◎ 音声ガイダンスによる会場誘導
- ◎ 会場案内板等、来場者誘導に係る看板の適正配置
- ◎ ピクトグラムの使用 等



会場案内板(イメージ)

利用しやすい会場づくり

仮設トイレ・休憩スペースの適正配置や、聴覚障がい者のための情報保障席の設置など、すべての人が快適で利用しやすい会場づくりを行います。



- ◎ 利用者を考慮した仮設トイレの適正配置
- ◎ テント等による休憩スペースの適正配置
- ◎ 式典会場等における聴覚障がい者のための情報保障席の設置
- ◎ バリアフリートイレ(性別によらず誰でも使えるトイレを含む)の設置
- ◎ カームダウンスペースの設置
- ◎ 補助犬トイレの設置 等



バリアフリートイレ(イメージ)

■ ゾーニングの考え方

▷ゾーンを明確に区分し、すべての人が利用しやすいゾーニングを行います。

ゾーン区分	内容
皇室	・ロイヤルボックスは、式典会場全体が見渡せる主競技場メインスタンド中央に配置し、安全確保を最優先します。
選手団・役員控所	・休憩場所や荷物置場となる控所は、選手団・役員整列所にできる限り近い場所に配置します。
選手団・役員整列所	・円滑な入場行進に必要な整列所は、選手団・役員が整列できるスペースを確保できる場所に配置します。
演技出演者控所	・人数規模に合わせたスペースを確保し、式典会場に近い屋根のある場所に配置します。
おもてなし広場	・売店、飲食ができる休憩所、PRブースなどの諸施設を整備し、来場者をお迎えできる場所に配置します。
駐車場	・シャトルバスやタクシーによる来場が想定されるため、対応できる乗降所を配置します。

■ 動線の考え方

▷ロイヤル動線を他の動線と区分・分離して設定します。

▷参加者〈選手団・役員、一般観覧者、演技出演者等〉に区分設定し動線を検討します。

▷それぞれの動線が交錯しないようゾーン配置や時間差入場を考慮した計画を行います。

動線区分	内容
皇室	・皇室関係車両の移動ルートに十分配慮し、安全確保を最優先します。
大会役員・招待者	・受付および入退場口を一般観覧者用と区別し、動線が交差しないように配慮します。
選手団・役員	・計画バス駐車場から控所、整列所、式典会場までの動線について、他の動線と交差しないように配慮します。
一般観覧者	・入退場口を適切に配置し、大人数が円滑に入退場できるように配慮します。
演技出演者	・計画バス駐車場から控所、式典会場までの動線について、他の動線と交差しないように配慮します。